



## 初めて会う人との会話には事前準備を

インクルーシブ教育研究者・博士（障害科学）野口晃菜

今回のでこぼこポン！のテーマは「話し方がわからない」です。

いつもはでこりん、ぼこすけ、ポンのメンバーですが、今回はストレッチマンレッドが遊びにきています。でこりんはストレッチマンレッドが来ることを知らなかったようで、驚いています。ストレッチマンレッドから質問をされますが、でこりんは焦ったり困ったりしている様子がみられます。でこりんのように、特に初めて会う人や慣れていない人と話す時に固まってしまうたり、お話をすることが難しかったりする子どもがいます。その背景としては、知らない人と会い、過度に緊張をしていたり、何を話したらよいかわからなかったり、何か話して嫌われたらどうしよう、なんて答えたらいいかわからない…などの思いがあったりします。どうしたらいいかわからなくて固まっていると、周りに「嫌いなのかな？」「話したくないのかな？」と思われてしまうこともあります。でも、「話したくてもどうしたらよいかわからない」子どももいるということを知っておけるとよさそうです。

ポンのアイデアにより、でこりんは、「しゃべロッカー」という発明品を開発します。「しゃべロッカー」は話すテーマの選択肢を考えてくれ、代わりに質問をしてくれます。このように、事前に話す内容を準備しておいたり、テーマの選択肢があったりすることによって、話しやすくなる子どももいます。また、以前「“初めての場所”の不安を減らす発明品」でもご紹介したように、初めて会う人がどんな人なのかを事前に知っておくこと、当日どのような場所で話すのか、などを事前に話しておくことや、落ち着くグッズを持ち歩いておくのも良いでしょう。話す内容を事前に決めておいて、ロールプレイをしておくのも一つです。

「しゃべロッカー」はでこりんが直接ストレッチマンレッドと話すことが難しい時には、代わりに話してくれます。このように、直接お話することが難しい場合は、まずはよく知っている安心している人を介してはなしたり、「はい」や「いいえ」のサインを決めておき、初めはサインで話したりすることもおすすめです。

初めての人との会話は緊張するものです。ぜひその子に合った落ち着く方法や準備をしてみてください。